
コミュニティーカフェ 結十

関東若手市議会議員の会 女性部研修in茨城

コミュニティーカフェ 結十

主な活動

- Nobody's Perfect = CANADAの友達作りの活動

FTF交流会 = Facebook to Face

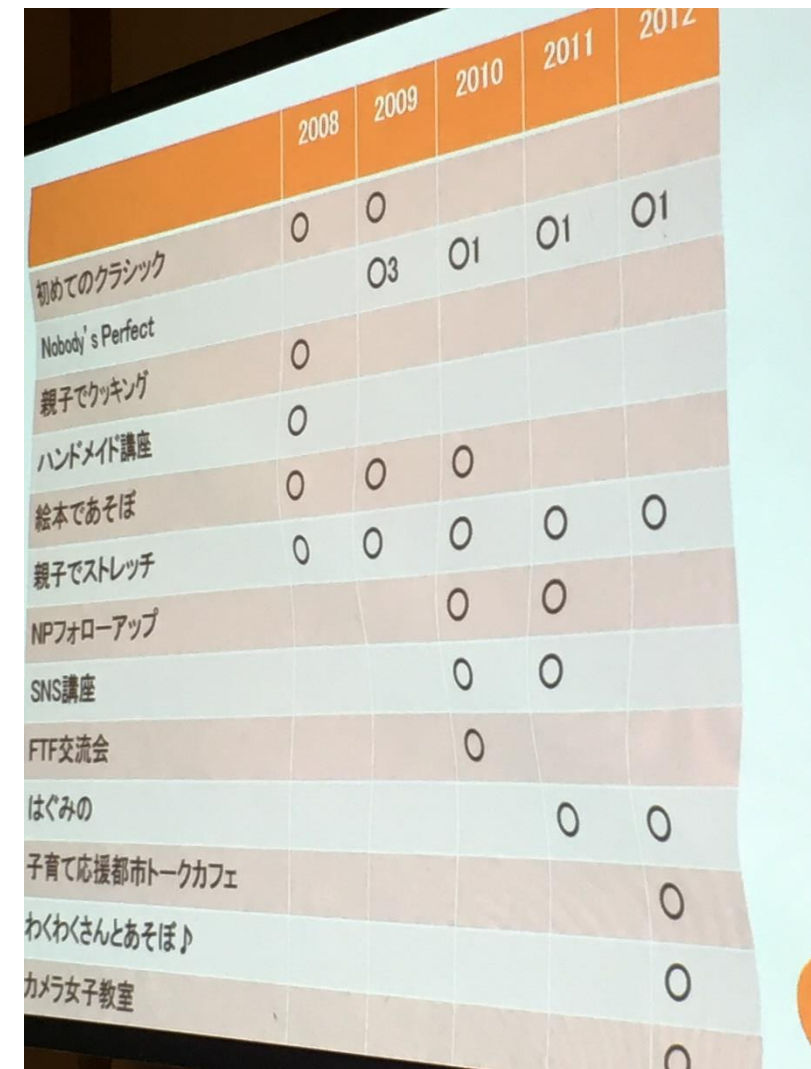
わくわくさんとあそぼ = 招いて工作

などの活動で子育て世代のコミュニティーを作った。



ピアノシモクラブ

- この活動ではシェフと一緒に料理を作ったりすることで、一緒に活動していく
- 前頁のNobody's Perfectなど各活動
- 写真のように様々な活動を通じて、多角的で、多くの団体が連携を取れる形になっているが、多団体での活動なので組織化できない所が課題



| | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
|------------------|------|------|------|------|------|
| 初めてのクラシック | 0 | 0 | | | 01 |
| Nobody's Perfect | | 03 | 01 | 01 | 01 |
| 親子でクッキング | 0 | | | | |
| ハンドメイド講座 | 0 | | | | |
| 絵本であそぼ | 0 | 0 | 0 | | |
| 親子でストレッチ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| NPフォローアップ | | | 0 | 0 | |
| SNS講座 | | | 0 | 0 | |
| FTF交流会 | | | 0 | | |
| はぐみの | | | | 0 | 0 |
| 子育て応援都市トークカフェ | | | | | 0 |
| わくわくさんとあそぼ♪ | | | | | 0 |
| カメラ女子教室 | | | | | 0 |

PR一例

- 秋田県横田市のハッシュタグで町おこし
⇒指定されたハッシュタグで拡散
- 子育て上手常陸太田市をキャッチコピーにして、【お母さんが見やすい】イラスト、紙質などを意識して活動
⇒ライターが遊び心でキャラクターを勝手に入れていたことでこのキャラクターがPR素材になってきた
⇒面白い高齢者や他団体が陶器にしたり、輪が広がっていった。



お母さん側が利用できる名刺が広がっていった。

【現在100名】

課題は組織化できないところ。

⇒行政は最初は後ろ向き

梅津会館の運営（郷土資料館）

- 子育てママさんの負担軽減の為
沢山雇用して、チームで運営して
いる。→図の色1つが1人
- 給料は2～3万円出る（自宅で暇
しているより少しでも収入に）
- ママの力で運営していく子連れで
の交代勤務制
⇒新聞になっている
- 音楽会や落語などをママのアイ
デアで開催し、市内の子育て団
体とコラボして子子育てメッセの開
催に至った。（企業も賛同）

| 2016/9/19(土) | 9月20日 | 9月21日 | 9月22日 | 9月23日 | 9月24日 | 9月25日 |
|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |
| 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 | 大塚 | 栗田 |

質疑

質問

1. 団体数は？
2. 連携はどの程度とれてる？
3. 商店街の活性化事業を使っているが、事業のきっかけは商店街を活性するためにカフェを作ったのか？
4. 梅津会館の給料は理解したが、ほかの事業で持続可能にしている？
5. 旧市街地に縁のない方が始めたが、やったことによるメリットは？またデメリットは？
6. NPOにした理由は受託事業を受けやすいからだと思うがなぜNPOなのか？また苦労する点は？
7. 行政からNPOへの支援は？
8. NPOに対する市の考えは？

答

1. 多種多様な小さなグループが沢山ある。交流はしやすい環境。40団体くらいある。
2. 個々のネットワークで気が付いたら繋がっていった。
3. まちづくり団体活動で始まり、黒磯のカフェを視察し、そこからお母さんが集まれるカフェづくりになったので元々商店街の活性に興味すらないが、たまたまリンクした。
4. カフェの収入などを事業費、人件費当てている。カフェの従業員にも支払っている
5. 3店同時にOPENしたので点ではなく面で見れた。旧市街地の商店街で開いたことでバックアップがもらえた。また街並みが歴史あることはメリット。
6. 個人財産とNPOだとイメージが違う。NPOならお金のにおいがしないので、金を稼ぐためにカフェをやっていないという本来の形になる。会計処理や提出書類はNPOにして大変になった。NPO専門の会計処理ソフトがある。
7. 縦割りなので、庁内の連携が取れていない。担当職員からOKが出たのに、課長で逆になってくることが多い。
8. 安く使える使い勝手が良い場所。最低賃金だけならまだしも補助を値切られる。一緒に作り上げている感覚はない。

総括

子育て世代のママさんのコミュニティー作りの、道づくりをしていく事で、行政、民間企業、団体との連携ができています。

また活動でも**子育てママさんが子連れで少しでも稼げる環境**を作ったことで賛同する方も増えていく。

地域のコミュニティー間のネットワークが増えていき類似団体間の協力体制などにより、各団体の負担軽減と複数団体でのイベント開催など可能性が大きくなる。

しかし、課題としては講師の方の言っている通り、組織化できないという事、組織化しないことによるメリットも大きいのでよし悪しは決め難いが、いざという際の責任の所在は組織の方が良いので、どのような形がベターなのかを精査していく事が重要。

これからこのような活動をする際は、ボランティア組織に近いため、ベストではなくベターを選んでいくような組織作りが重要だと感じた。